

令和5年度 第1回豊田市文化財保護審議会

日 時 令和5年5月26日(金)
午後3時から
場 所 市役所南庁舎 51会議室

次 第

- 1 生涯活躍部 美術・博物館室長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 文化財課・博物館準備課の組織体制について 【資料1】
- 4 議 題
 - (1) 諮問 天然記念物の指定解除について 【資料2】
 - (2) 令和4年度文化財課事業報告について 【資料3】
・文化財施設利用状況事業報告 (別紙1)
 - (3) 令和5年度文化財課・博物館準備課事業計画について 【資料4】
- 5 報 告
 - (1) 令和4年度購入資料について 【資料5】
 - (2) 豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会の設立について 【資料6】
 - (3) 今後の文化財保護審議会と博物館事業の関りについて 【資料7】
- 6 その他

豊田市文化財保護審議会委員名簿

任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日

番号	氏名	就任年月日	新任 再任	所属等
1	会長 田中 祥雄	平成 9 年 6 月 1 日	再任	豊田市史資料調査会会長
2	副会長 後藤 嘉寿美	平成 13 年 6 月 1 日	再任	文化財保存修復学会
3	阿部 和俊	令和 元年 6 月 1 日	再任	愛知教育大学名誉教授
4	岩田 敏也	平成 17 年 6 月 1 日	再任	東海工業専門学校講師
5	岡本 大三郎	平成 23 年 6 月 1 日	再任	東海民具学会会長
6	加藤 真司	平成 19 年 6 月 1 日	再任	中部産業遺産研究会
7	北村 和宏	平成 21 年 6 月 1 日	再任	豊田市史資料調査会事務局長
8	佐久間 章郎	平成 19 年 6 月 1 日	再任	AT21 倶楽部（足助地区）
9	永田 研	令和 元年 6 月 1 日	再任	市民公募
10	白鳳 明人	平成 29 年 6 月 1 日	再任	豊田市名木愛護会理事
11	水野 功	平成 19 年 6 月 1 日	再任	挙母祭保存会顧問
12	水野 半次郎	令和 元年 6 月 1 日	再任	（合）瀬戸本業窯 代表社員
13	山口 薫子	令和 元年 6 月 1 日	再任	市民公募
14	渡邊 健二	令和 3 年 6 月 1 日	新任	豊田市郷土史研究会 会長

（50音順）

令和5年度 文化財課組織体制

資料 1

「豊田市 生涯活躍部」

● 転入、異動職員

生涯活躍部 部長	● 八木 健次
美術・博物室 室長	● 森 泰通

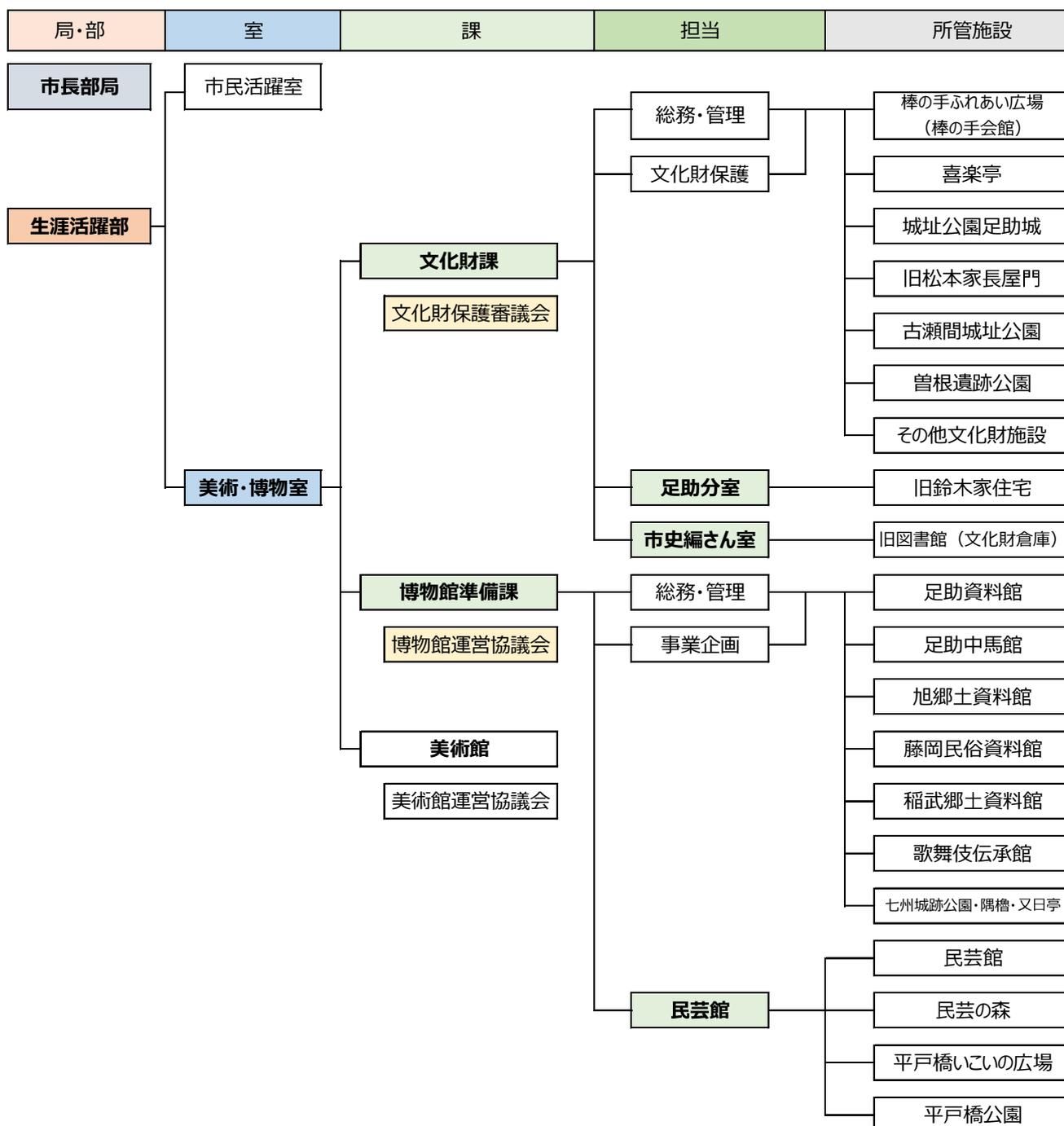
「文化財課」

■旧郷土資料館 ※ () 内は担当名	電話32-6561 FAX34-0095 豊田市陣中町1-21-2 旧郷土資料館内
課長	児玉 文彦 課全体業務【総括】
副課長	梅村 美紀子 文化財業務【総括】、審議会、各種行政計画管理、庁内調整
担当長（文化財保護・活用）	久野 雄二 庶務・予算・決算等【総括】、保存会事務【総括】、施設管理事務【統括】、埋蔵文化財【総括】
主査（文化財保護・活用）	川辺 知子 庶務、補助金（保存維持/顕彰会）、施設管理等関連事務
主査（文化財保護・活用）	市澤 泰峰 史跡・名勝・天然記念物、補助金（修理事業）、埋蔵文化財、文化財指定等関連事務
主査（文化財保護・活用）	安藤 由真 埋蔵文化財、国庫補助、建造物、文化財指定等関連事務
■足助分室	電話62-0609 FAX62-0606 豊田市足助町宮ノ後26-2 足助支所内
室長	井上美知代 足助分室業務【総括】
主査	● 下田 節子 足助伝建地区業務（伝建物現況調査活用検討、補助金、現状変更、学習、団体支援）、庶務等関連事務
主査	木原 将志 足助伝建地区業務（10周年事業報告書、技術支援）、旧鈴木家住宅工事・部分公開等関連事務
■市史編さん室	電話36-0570 FAX31-0162 豊田市陣中町1-19-1 旧図書館内
室長	伊藤 智子 市史編さん室業務【総括】
主査	瀧瀬 教恵 市史刊行・庶務等関連事務
「博物館準備課」	
■博物館準備課 ※ () 内は担当名	電話32-6512 FAX34-0095 豊田市陣中町1-21-2 旧郷土資料館内
博物館準備課長	高橋 健太郎 課全体事業【総括】
博物館館長予定者	村田 眞宏 博物館整備事業に係る助言、指導
副課長	鈴木 なつみ 博物館整備事業【総括】
担当長（事業企画担当）	倉林 重幸 博物館整備事業（事業活動）歴史系資料整理、収蔵資料管理、学芸業務、パートナー事業【総括】
担当長（総務・管理担当）	伊藤 圭一 博物館整備事業（事業活動）、総務、補助金、歌舞伎伝承館運営【総括】
主任主査（事業企画担当）	駒野 雅彦 博学連携事業、歴史体験講座、パートナー事業
主査（事業企画担当）	名和 奈美 博物館整備事業（市民周知）、パートナー事業、民俗系資料整理、企画展、民具資料調査等関連事務
主査（事業企画担当）	山田 佳美 博物館整備事業（展示・収蔵製作、民家等移築）、古文書調査等関連事務
主査（事業企画担当）	鶴田 博嗣 博物館整備事業（新築工事、備品）、自然系資料整理、あつめるプロジェクト
主査（事業企画担当）	● 永田 悠記 博物館整備事業（新築工事、備品）、補助金、考古系資料整理、企画展、あつめるプロジェクト
主査（総務・管理担当）	● 松下 広江 博物館整備事業（管理、備品）、庶務・経理、市民周知、歌舞伎伝承館運営
アドバイザー（博物館準備・学芸）	伊藤 俊満 博学連携事業、博物館整備事業等関連事務
■民芸館	電話45-4039 FAX46-2588 豊田市平戸橋町波岩86-100
館長	都筑 正敏 民芸館・民芸の森業務【統括】
担当長	森 友義 民芸館・民芸の森業務【総括】
主査	青木 弥生 民芸館・民芸の森管理・運営、庶務等関連事務

組織編成と施設所管について

文財課が所属する生涯活躍部の中に、**市民活躍室**と**美術・博物室**が設置され、博物館準備室は、**博物館準備課**（開館後は**博物館（課）**）となった。

●組織編成



令和5年5月26日
豊文財発第252号

豊田市文化財保護審議会
会長 田中 祥雄 様

豊田市長 太田 稔彦

豊田市指定文化財の指定解除について（諮問）

みだしのことについて、豊田市文化財保護条例第34条第6号の規定に基づき諮問します。

記

天然記念物

御作のサザンカ（1樹）

御作町正野平262

水野 正勝 所有

指 定 解 除 調 書 (御作のサザンカ)

種 別	天然記念物
番号・指定(諮問)日	令和5年5月 日諮問 指定日 昭和60年3月2日
名 称	御作のサザンカ (みつくりのさざんか)
員 数	1 樹
規 模	樹 齡 約270年 樹 高 5.5m 幹 周 2.32m 枝 張 東2.3m南5.7m西4.4m北2.3m
所有者・所在地	水野 正勝 (個人) 豊田市御作町正野平262番地
経 緯	<p>令和3年10月4日、所有者より落葉が目立つと連絡あり。同日、文化財課が2/3程度の落葉を確認。所有者からの聞き取り内容は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏から極端に湧き水の水量が減少 (水道が変わった) ・落葉は急に始まった <p>1/3の葉は残っており、水やりをして様子を見るよう依頼。12月16日、花が咲いている状態を確認 (1/3程度)</p> <p>令和4年5月13日、樹木医と共に状況確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹冠南側が水をあげておらず、枯死している (寿命) ・樹冠北側は樹皮から水をあげており、かろうじて生きている ・夏の日照りで枯死する可能性は大きい (処置できない) <p>9月16日、所有者からすべて落葉したと連絡あり。同日、文化財課が現場確認。</p> <p>10月13日、樹木医と共に枯死の原因を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹の腐朽が進行し、養水ができなくなった ・渇水や日照りによる乾燥 <p>※寿命による枯死</p>
解除理由	枯死

(参考) 現況写真



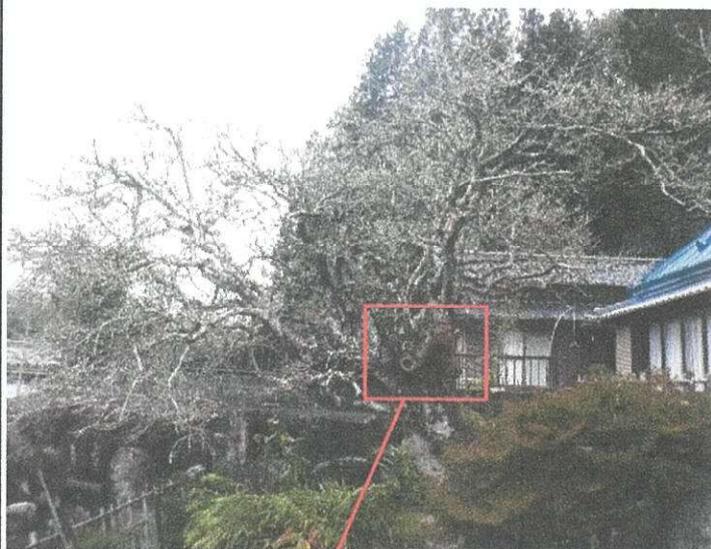
令和3年10月4日撮影 全体の2/3が落葉



令和5年4月25日撮影 全体が枯死

樹木診断調書

樹木の名称	御作のサザンカ		[市町村名]	豊田市	No. 27
診断年月日	2022年10月13日				
診断者	樹木医 坂田英輔・天野洋平				
立会者	愛知県豊田加茂農林水産事務所 林務課 奥村紀美、		文化財課 久野 雄二、所有者 水野夏美		
樹木の形態等					
樹種名	サザンカ		指定種別	樹木保存法(文化財)(条例)要綱要領	
所在地	豊田市御作町		指定種別	天然記念物(国県(市町村))	
所有者(管理者)	水野正勝 水野夏美		指定種別	地域のシンボル	
樹齢	(推定)・伝承 270年		成 立 地	境内 構内 公園(庭)市街地 その他()	
樹高	5.5 m		日 照	(良)	並 不良
幹周	2.32 m		立 通 風	(良)	並 不良
枝 張	東へ	南へ	西へ	北へ	乾 湿 乾 (並) 湿
	2.3 m	5.7 m	4.4 m	2.3 m	
下 枝 高	1.6 m (南)		踏 圧	(無)	やや堅い 堅い すこぶる堅い
写 真			土 性	砂土 (砂壤土)	壤土 埴壤土 埴土 石礫土



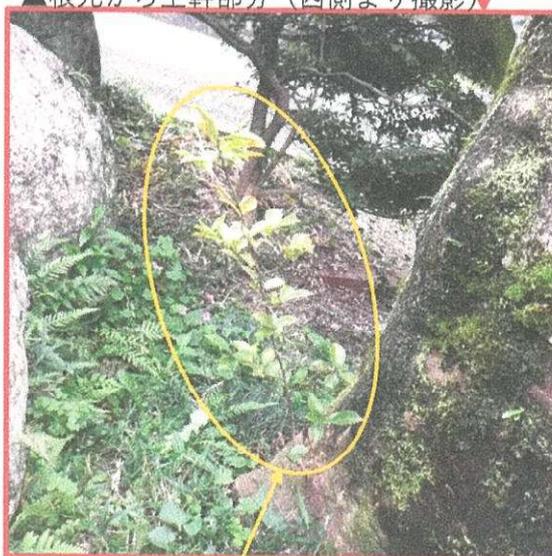
▲全景(東側より撮影)



▲根元から主幹部分(西側より撮影)



▲幹の東側部分・背着生の子実体【長さ80cm×幅27cm】

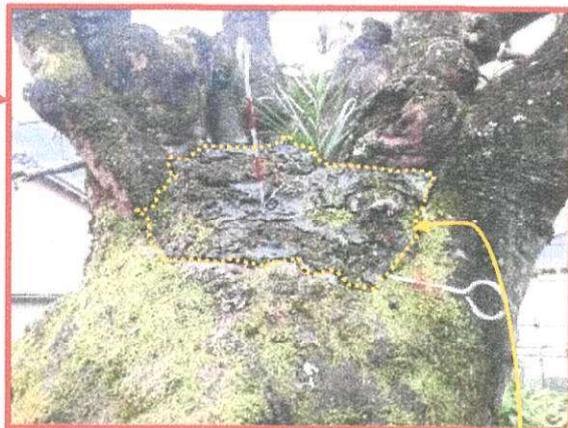


▲根元のひこばえ【長さ60cm/枝直径4】

樹 勢 の 診 断		樹木の名称	御作のサザンカ	No.	27
測定項目	評 価	測定項目	評 価		
樹 勢	生育状態が良好 若干被害がある	病 害	葉の病気 有 ()	無	
	異常が認められる 生育状態が劣悪		枝や幹 有 ()	無	
樹 形	自然形を保持 若干乱れるが自然樹形	虫 害	食葉性 穿孔性	無	
	自然樹形の崩壊が進行 自然樹形が完全に崩壊		吸汁性 虫えい形成		
枝の伸長量	正常 幾分少ないが目立たない	気象害	寒害 凍害 風害 乾燥害 落雷	無	
	枝は短く細い 枝は極度に短く捻れもある		その他 ()		
梢端の枯損	無 少しあるが目立たない かなり多い 著しく多い	土 壤	踏圧害 乾燥害 湿害	無	
枝葉の密度	枝葉のバランスが良 枝葉のバランスがやや劣	幹	空洞 腐朽 (外科手術痕)	無	
	やや疎 枯枝が多く密度が著しく疎		根 根株の腐朽 有 無 不明		
幹、大枝の状況	正常 傷, 空洞が少々あるが目立たない	その他	きのこの発生 あり (背着生)		
	傷, 空洞, 腐朽菌が認められる		植物等の着生		
	傷, 空洞, 腐朽菌が著しく目立つ		地衣類 (ウメノキゴケ)		
現況					
<p>本対象木は、豊田市御作町の個人宅庭園内に在り、今回の診断調査にお伺いした際には、残念ながら、根元のひこばえより上部は、養水分の供給も無く、枯損した状態となっている。</p> <p>【根元より上部は枯損している為、上記測定項目の樹勢～虫害部分は、無印となります。】</p> <p>根元の北側にひこばえが1枝あるが、日照不足もあり、弱々しい。【高さ60cm/枝直径4mm】20年程前から、樹勢衰退の傾向が徐々にみられるようになった。(その頃、水の濁水があった。)その後、10年程前から、樹勢衰退の傾向が顕著となる。(花付きも徐々に悪くなりだした。)令和2年度の初冬頃に、花付きの悪さが顕著となる。令和3年度の夏頃に、樹冠南側部分が枯損した。令和4年度の夏頃に、残りの樹冠北側部分が枯損して、根元のひこばえより上部が、全て枯損した。</p> <p>*平成元年に幹の開口空洞部にウレタンの充填を施した。【幹の西側部分/幹の北西側部分/幹の東側】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹の西側部分のウレタン充填【地面より高さ0.7mの位置/幅35cm×長さ35cm×深さ45cm/幹直径52cm】 ・幹の北西側・大枝分岐部分のウレタン充填【地面より高さ1.7mの位置/幅50cm×長さ50cm×深さ30cm】 ・幹の東側・大枝分岐部分のウレタン充填【地面より高さ1.6mの位置/幅20cm×長さ20cm】 <p>幹の西側部分のウレタン充填部分では、幹直径52cmに対して、鋼棒が45cm貫入した為、残りの材質の厚みは、7cmとなる。ウレタンと材質の隙間に空洞が有り、肥大成長が少なかった。</p> <p>*幹の東側と西側に背着生の子実体(ピロイド状の菌糸膜)が不定形に付着している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹の東側【地面より高さ1.8mの位置/幅27cm×長さ80cm】 ・幹の西側【地面より高さ1.4mの位置/幅10cm×長さ5cm】 <p>根元部より上部には、細かいクラックが樹体全体にみられる。特に、高さ3m以上の位置に、樹皮の無いクラックが多くみられ、樹皮欠損から3年以上経過しているとみられる。樹冠の枝全体に、ウメノキゴケの付着が多くみられる。</p>					
原因					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成元年に、ウレタン充填を施した頃は、材質腐朽は顕著であったが、樹皮は健全に保たれていた為、生理的な影響は少なく、樹勢は保たれていた。その後、腐朽が進行し、年輪の若い部分まで、腐朽が進行した事により、養水分の供給が少なくなり、樹皮が徐々に枯損する様になったと推察する。 ・水の濁水など、水条件が悪化した事に伴い、養水分の供給が少なくなり、樹皮が枯損したと推察する。 ・年々、樹勢が衰退し、令和3年と令和4年の夏頃に、日照りによる乾燥から、根元より上部が枯損した。 					
対策					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 根元より上部は枯損しており、大変残念ではあるが、根元のひこばえを残し、伐採処理をする。(天然記念物であり、丁寧な伐採処理を施したい。) 2. 根元部分に残ったひこばえを大事に育てる。ひこばえは水源に至る根系が生きている証拠である。現況では、上部の樹冠及び幹に被覆されていたが、伐採処理をする事により、日照条件の良化が期待できる。 					



▲根元～主幹部分（北北西側より撮影）



▲幹の北西側・大枝分岐部分のウレタン充



▲幹の西側部分のウレタン充填



▲幹の東側・大枝分岐部分のウレタン充填



▲幹の西側部分・背着生の子実体



▲枯損した樹皮にクラックが多くみられ



▲枝全体に付着するウメノキゴケ



▲全景（南側より撮影）

令和4年度 文化財課事業報告

◆文化財保護

（1）文化財等保存維持・修理補助

- ・有形文化財保存修理 3件（猿投神社不動明王立像・隣松寺消防設備・足助八幡宮消防設備）
 - ・有形民俗文化財保存修理 4件（拳母喜多町の山車幕・拳母中町の山車梶棒・拳母南町の山車螺鈿柱・足助西町の山車格子）
 - ・史跡名勝天然記念物保存整備 4件（下山白山神社のスギ・旭押井のケヤキ・旭楨本のイチヨウ・藤岡下川口のイチヨウ）
 - ・文化財保存施設整備 1件（拳母神明町の山車蔵）
 - ・有形民俗文化財保存維持 14件（申請16件のうち取下げ2件）
 - ・無形民俗文化財保存維持 26件（申請27件のうち取下げ1件）
 - ・伝統的郷土芸能保存維持 16件
 - ・伝統的郷土芸能保存修理 2件（中根神楽保存会巫女舞衣装・霧山囃子保存会提灯）
 - ・郷土の先人顕彰活動 3件
- 総数73件

（2）史跡・名勝・天然記念物等の保護・活用

【工事・修理等】

- ・百々貯木場土砂撤去、樋門スクリーン設置及び支障木伐採
- ・大給城跡入口階段修理及び駐車場増設
- ・市場城跡トイレ修理及び雷被災木伐採
- ・足助城西の丸櫓屋根葺替
- ・稲武郷土資料館スロープ修理
- ・旧龍性院庭園支障木伐採
- ・杉本の貞観スギ大枝伐採及び傾斜計測

【その他】

- ・二ホンカモシカ滅失個体対応 69件
令和3年度：80件／令和2年度：51件／令和元年度：45件

（3）埋蔵文化財の調査・整理

【本調査】1件（令和3年度：1件）

遺跡名	所在地	調査理由	調査面積（㎡）	主な成果
鶏石1号窯	田舩町	緊急調査	800	中世の窯跡
計			800	（令和3年度：35㎡）

【試掘・範囲確認調査】11件（令和3年度：5件）

菖蒲田遺跡・水汲遺跡・中垣内古屋敷跡等範囲確認調査（ほか）

【工事立会調査】74件（令和3年度：73件）

【手続等】

- ・埋蔵文化財の有無照会 596 件（令和 3 年度：575 件）
- ・発掘届出（93 条・94 条）132 件（令和 3 年度：102 件）

【報告書作成】

- ・北貝戸遺跡・舞木廃寺

【発掘調査報告書等刊行】

- ・『北貝戸遺跡』第 89 集
- ・『令和 3 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書』

◆足助伝建まちづくり事業

（1）足助伝建地区の修理・修景事業

- ・伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催（7月）
- ・修理・修景事業実施（1件）補助額 19,521 千円
- ・現状変更行為許可（28件）

（2）足助の町並み活用

- ・足助伝統的建造物群保存地区保存会の活動（4回）
- ・「足助の町並」を活用した学習の実施
足助小 5 回・参加者数 147 人、他地区土橋小・参加者数 60 人
足助高校による町並みスタンプラリー支援（前山小、中金小 153 人参加）
- ・足助町並みサポーター活動（6回）

（3）足助伝統的建造物群保存地区防災対策整備

- ・防災部会開催（6回） 防災訓練（9月4日）、文化財防火訓練参加（1月29日）

（4）町並み情報発信

- ・「足助伝建かわら版」発行（4回）、伝建かわら版編集委員会の開催（8回）
- ・足助伝建フェイスブックの更新（9回）* フォロワー数 764 人（前年比 92 人）

（5）旧鈴木家住宅の保存整備と活用

- ・旧鈴木家住宅公開（8回 29人） * コロナ対策のため 1 回定員 5 名で実施
- ・旧鈴木家住宅修理記録映像製作
- ・旧鈴木家住宅保存修理・防災・活用工事実施に向けた文化庁現地指導（7月、3月）
- ・旧鈴木家住宅保存修理 第 5 期工事（令和 2 年度～4 年度）
第 6 期工事（令和 4 年度～6 年度）
- ・旧鈴木家住宅防災対策工事 第 1 期工事（令和 3 年度～4 年度）
- ・旧鈴木家住宅活用整備工事 第 2 期工事（令和 4 年度～5 年度）

◆市史編さん事業

（1）『総集編』編集

事典項目 2, 597 の選定と内容調整。編集作業実施。

（2）専門委員会

- ・第 58 回（6/5）、第 59 回（9/4）、第 60 回（12/4）、第 61 回（3/5）

(4) 部会の主な調査等

- ・総集編部会 考古班／古代・中世班／民俗班／建築班／美術工芸典籍班／自然班単位で事典項目・図表・原稿執筆。原稿調整・入稿

(5) 市史編さん事業の周知・啓発

- ・『豊田市史研究』の刊行（第14号）600冊 1冊1,300円。
- ・「新修豊田市史だより」の刊行（第30号8月・第31号2月）各1,800部
- ・市史講座の開催（3回193人）

(6) その他

- ・市史調査資料マイクロフィルムのデジタルデータ化等実施
- ・『地図でみる近代の豊田』600冊刊行。 1冊1,900円。

◆郷土資料館事業

(1) 民具整理・調査関係

旧図書館（児童閲覧室）・棒の手会館1階収蔵庫資料整理：台帳作成・整理収納完了

(2) 豊田市郷土資料館の展示・講座・入館者数

- ・豊田市郷土資料館 令和4年度（4/1～9/30）入館者数 6,102人
※令和4年9月30日閉館
（令和3年度入館者数 10,550人／令和2年度入館者数 8,692人／令和元年度入館者数 10,608人）
- ・こども向け体験企画
令和4年度 春：264人、夏：2,704人、冬：135人 計3,103人
※ 長期休暇期間にあわせ3回
※ 冬期、春期については、こどもデーとして2日間開催
- ・体験講座
令和4年度（まが玉づくり、化石を取り出してみよう 合計101人）
- ・よろいを着てみよう
令和4年度 79人

(3) 文化財施設利用状況

〔別紙1〕参照

(4) とよた歴史マイスター事業

豊田市域の歴史・文化財について学び、関心を持ち、伝える活動を行う人を「とよた歴史マイスター」として認定し、活動した。

- ・既認定者 70人 ・活動参加者数 延べ43人
- ・マイスターが支援した博学連携への参加者
令和4年度：既認定者 70人 ・活動参加者数 延べ43人
博学連携参加者数 2,077人

(5) 資料等貸出し等利用件数

- ・他館・機関への資料貸出し 10件

- ・写真貸出し 132 件
- ・資料閲覧 35 件

(6) 郷土学習スクールサポート

- ・スクールサポート 372 校 30,870 人の小中学生が利用

年度	資料館	遺跡見学	出前	貸出	総計
R4	7 校	85 校	142 校	145 校	372 校
	199 人	4,051 人	10,009 人	16,810 人	30,870 人

年度	資料館	遺跡見学	出前	貸出	総計
R3	11 校	54 校	140 校	98 校	303 校
	337 人	3,599 人	8,322 人	11,805 人	24,063 人
R2	9 校	18 校	86 校	128 校	241 校
	283 人	658 人	4,675 人	14,565 人	20,181 人

- ・とよた歴史マイスターサポート活動 27 件 43 人実施 (2,077 人の小中学生が利用)
- ・博物館の学校活用ガイド (教員向け) 発行

◆近代の産業とくらし発見館事業

(1) 施設管理業務

- ・令和 4 年度入館者数 10,514 人
- ※令和 5 年 3 月 31 日閉館

(2) 近代の産業とくらし発見館の運営

- ・令和 4 年度企画展「まゆまつり 2022～とよたの養蚕製糸遺産～」
(4/20～7/3) 1,890 人
- ・令和 4 年度企画展「ありがとう発見館—17 年のあゆみ—」
(2/11～3/31) 1,890 人
- ・展覧会ギャラリートーク 4 回
- ・ものづくり講座：「まゆ花ドーム」等
- ・ものづくり体験：「えと絵馬」等
- ・ぶらコロモ：年 4 回開催
(名木めぐり編、路地めぐり編、グルめぐり編、運氣アップ編)

◆民芸館事業

(1) 施設管理業務

- ・民芸館・陶芸資料館 入館者数 46,338 人※
- 令和 3 年度 25,345 人
- 令和 2 年度 19,330 人
- ※ 令和 4 年度から 3 館すべての入場者を合算する積算方法に変更

- ・民芸の森 入館者数 21,708 人
令和3年度 19,974 人
令和2年度 16,242 人
- ・平戸橋いこいの広場・平戸橋公園（指定管理） 利用者数 81,294 人
令和3年度 78,572 人
令和2年度 64,524 人

（2）民芸館の運営

① 展覧会開催事業

- ・企画展「新収蔵品展」（第1民芸館）
（～5/29）令和3年度分 51日間 2,002人
（関連企画 ギャラリートーク、絞り染め体験）
同時開催「館蔵 手仕事の優品展」（第2民芸館）2,273人
- ・企画展「雑誌『工藝』の美」（第1・2民芸館）
（6/7～8/28）73日間 5,253人
（関連企画 ギャラリートーク2回）
- ・特別展「藍染の絞り 片野元彦・かほりの仕事」（第1・2民芸館）
（9/13～12/4）74日間 2,818人
（関連企画 講演会、藍染め絞り体験、ギャラリートーク、関連商品の販売）
- ・特別展「全国の郷土人形－祈り・願い・美しさのかたち」（第1・2民芸館）
（1/21～5/7）2,118人 ※3月末現在 60日間
（関連企画 講演会、絵付け体験、ギャラリートーク、関連商品の販売）
- ・第3民芸館B展示室展示開催事業（民芸館ギャラリー）
「講座作品展」ほか6回

② 講座開催事業（申込数）

- ・穴窯陶芸 201人〔122人〕 *〔〕は令和3年度
- ・ガス窯陶芸（土、日曜日） 81人〔105人〕
- ・絞り染め（初級、上級、藍染） 73人〔74人〕
- ・染織（初回、初級、上級） 65人〔83人〕
- ・トンボ玉教室（初級～上級） 68人〔100人〕
- ・拳母木綿（初級、中級、上級） 47人〔64人〕
- ・1日体験教室 384人〔504人〕
桜まつり・穴窯陶芸(2回)・ガス窯陶芸(7回)・絞り染め(2回)・裂織(2回)・
トンボ玉(2回)
- ・民芸体験 125人〔91人〕
穴窯陶芸（6回）、狛犬づくり、ハンカチ染体験、しめ縄作り
- ・団体利用 342人〔244人〕
穴窯陶芸1件、ガス窯陶芸2件 絞り染め4件 呈茶2件、見学2件

③ 資料等貸出し等利用件数

- ・外部施設等への資料貸出し 1件〔2件〕

④ その他

- ・『豊田市民芸館だより』の刊行（第33・34号）

(3) 民芸の森の運営

①企画運営会議の開催 3回

②NPO 法人民芸の森倶楽部の運営及び支援

- ・正会員 14 人、協力会員 7 人、賛助会員 1 人 (R4 年度)
- ・活動報告 運営委員会 (定例会) 10 回
連絡調整会議 (民芸館との報告、意見交換の場) 12 回

③民芸の森普及事業

- ・NPO 法人民芸の森倶楽部連携 (協働) 事業
初夏、森のてざわり (5/15) 約 500 人 ※令和元年度以来の開催
観月会 (10/8) 400 人 [486 人]
青佳談義 (2/25) 24 人 [37 人]
ボランティアガイド (団体: 予約受付) 6 月から再開 4 回 32 人
他イベント時実施
- ・体験ワークショップ「貼り絵でミニ鯉のぼりを作ろう」始め 9 回 611 人 [694 人]
- ・講座等 ギャラリートーク等 4 回 38 人 [3 回 28 人]
- ・森のアート展「野田宗憲陶芸作品展」始め 2 回 [3 回]
- ・その他コレクション展 2 回 [1 回]

(4) 伝統芸能開催事業

- ・民俗芸能祭 (4/1) 会場: 平戸橋いこいの広場 (平戸橋桜まつりと同日開催) [90 人]

(5) 友の会事業 (令和 4 年 12 月 31 日をもって閉会 (閉会時点の会員数 54 人)) [54 人]

- ・友の会通信発行 (3 回/116~118 号)
- ・閉会に伴う記念品進呈事業及び情報郵送サービス (有料) の開始

(6) 地域連携事業

- ・平戸橋桜まつり (4/2)
* 民俗芸能祭と同日開催 [6,000 人] ※過去最多
- ・桜ウィーク (3/19~4/3) スタンプラリー景品交換数 69 個 [105 個]
- ・新緑ウィーク (4/23~5/8) スタンプラリー景品交換数 56 個 [23 個]
- ・紅葉ウィーク (11/12~27) スタンプラリー景品交換数 55 個 [90 個]
- ・新春ウィーク (1/7~22) スタンプラリー景品交換数 23 個 [84 個]
- ・秋の勘八峡紅葉ウォーキング(11/20) 197 人 [201 人]

◆博物館整備事業

(1) 収蔵資料等修理

- ・市指定文化財 水汲遺跡出土土器等修理

(2) 博物館建設

- ・(仮称) 豊田市博物館新築工事 (令和 3 年 12 月~)
- ・(仮称) 豊田市博物館展示・収蔵環境等製作 (令和 3 年 12 月~)
- ・(仮称) 豊田市博物館園路整備工事 (令和 4 年 9 月~)
- ・旧平岩家住宅・土蔵移築工事 (令和 4 年 9 月~)

- ・市民周知イベント出展（4件 1,068人）
- ・市民周知イベント「第3回 みんなでつくる博物館」開催
（市民文化会館ほか 令和5年1月29日 1,786人）
- ・標本あつめるプロジェクト延べ参加者（28回 294人）

令和5年度文化財課 事業計画

◆重点目標

【令和4年度】

（求める状態・成果）

【令和4年度末のミライのフツー】

- ・（仮称）豊田市博物館整備が着実に進み、開館にむけた取組が市民を巻き込み行われ、博物館の目指す姿が広く市民に周知されている。

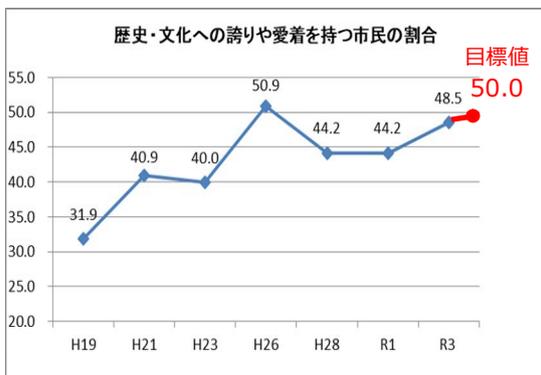
【令和6年度末のミライのフツー】

- ・開館後1年を経過した博物館を拠点に、市民とともに本市の歴史・文化・自然が継承され、価値や魅力が発信されている。
- ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合」【市民意識調査】の向上（目標値：50%以上）。【令和3年度末のミライのフツー】

※「ミライのフツー」とは、豊田市独自のキャッチフレーズで「めざす姿」という意味を象徴的に表している。令和2年度末のめざす姿及び、博物館が整備された後のめざす姿を設定し令和2年度の取組を進めてきた。

（取組成果）

- ・博物館の本体工事等が着実に進み、開館に向けた事業活動の整理や組織体制等について整理することができた。
- ・また、地域資料館のあり方についても再構築し、地元説明や代替展示施設である交流館等との調整を進めることができた。
- ・閉館した郷土資料館や近代の産業とくらし発見館では、多くの方に来場いただき、割引価格による図録等の既刊図書の販売も好評であった。
- ・その他、第8次総合計画等の指標である「主要文化財施設の総入館者数」は、新型コロナウイルス感染拡大による活動制限の緩和もあり、令和3年度より入館者が増えた施設が多かった。
- ・まとめとして、社会情勢の変化等の影響を受けながらも（仮称）豊田市博物館や足助地区の旧鈴木家住宅の整備に向け、設計、工事等を着実に進めることができた。



文化財課調べ

【令和5年度】

（1）目標「郷土の歴史・文化・自然への愛着や誇りを育むための事業推進」

（背景・経緯）

- ・多様な自然・文化的特性の源流となる本市の成り立ち、育まれてきた歴史・文化・自然を守り、育て、継承することが重要である。
- ・その価値を共有する取組を進め、ふるさとへの愛着や誇りを高めていく必要がある。

（求める状態・成果）

【令和5年度末のミライのフツー】

- ・文化財保存・継承のため、民俗芸能団体等の担い手不足や史跡、天然記念物等の文化財所有者が抱える課題を可視化し、市民と共有する。

【令和6年度末のミライのフツー】

- ・文化財の価値や魅力が共有され、保存・継承のための緊急的対応が柔軟に行われ、地域で文化財を守り、伝える活動が広がっている。
- ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民」の割合【市民意識調査】の向上（目標値：50%以上）。

（2）取組内容

①歴史や文化財の保存・活用と価値や魅力の発信

- ・ユネスコ登録「綾渡夜念仏と盆踊り」への活動支援
- ・「百々貯木場」の国指定に向けた調査と取組検討
- ・棒の手会館展示室リニューアルに向けた調査
- ・開発等による緊急的な埋蔵文化財等への対応
- ・旧龍性院庭園や貞観杉等個人所有の文化財への緊急的対応と整備方針の整理
- ・地域や関係団体と連携した時宜にかなった文化財の魅力発信
- ・ミュージアム連携会議を通じた連携取組の検討と一体的な広報の試行的実施
- ・文化財保存活用地域計画の策定に向けた庁内調整

②市史編さん事業の完了と調査成果の継承

- ・『新修豊田市史』総集編の刊行と配本
- ・市民参加型による市史完成記念イベントの開催
- ・博物館での活用を見込んだ市史調査成果情報の整理
- ・総集編（事典）テキストデータの検索データベースなど活用方法の検討
- ・資料の整理と市内に伝わる古文書等の散逸を防ぐ取組の継続

③足助の町並み整備と旧鈴木家住宅保存活用

- ・伝健地区修理修景事業の実施と魅力発信
- ・令和6年度以降の伝統的建造物の計画的な整備の検討
- ・旧鈴木家住宅の全面公開に向けた保存修理、防災対策、活用整備工事の実施
- ・旧鈴木家住宅部分公開の準備と開館事業の実施
- ・公開後の市民共働による試行的事業の企画と実施

◆主な事業計画

(1) 文化財事業

①文化財の保存維持・修理（補助事業）

- ・保存維持事業補助団体 6 1 件
(有形民俗 1 6 件・無形民俗 2 5 件・伝統的郷土芸能 2 0 件)
- ・郷土の先人顕彰事業補助団体 3 件
- ・保存修理事業 1 2 件
(守綱寺太鼓堂修理、平井町山車車輪、猿投神社不動明王、六所神社消防設備設置等)

②指定文化財等に関する学芸業務

- ・個人所有の指定文化財等の管理や調査に関する支援
- ・所管施設（松平郷館、棒の手会館等）の展示管理

③史跡・名勝・天然記念物の保護・整備等

- ・埋蔵文化財業務
埋蔵文化財照会（令和 4 年度実績 596 件）、報告書作成（北貝戸遺跡等）
市場城測量調査（発掘調査は令和 6, 7 年度実施）
- ・民俗文化財（有形・無形）の保護・継承支援
綾渡の夜念仏と盆踊りユネスコ登録支援
- ・カモシカ対応（令和 4 年度実績 死体検死 69 件、生存通報対応 30 件）
- ・百々貯木場国指定申請
- ・杉本の貞観スギ樹勢（傾斜）調査
- ・稲武地区橋梁群の登録文化財申請支援
- ・その他建造物・登録文化財の整備、維持管理支援
- ・市民相談案件への助言や支援

④文化財施設の適正管理

- ・文化財施設・史跡の維持管理
個別資料館（松平郷館・旧松本家・旧郷土資料館・発見館）、文化財倉庫 2 か所
史跡公園等 40 か所（曾根遺跡公園・丸根城址公園・豊田大塚古墳等）
- ・棒の手会館リニューアル調査の実施

⑤指定管理施設の適正な管理運営

- ・棒の手ふれあい広場、喜楽亭

(2) 足助伝建まちづくり事業

①足助伝建地区の制度運用の促進と周知

- ・足助伝建地区の修理修景補助事業の実施
- ・伝統的建造物現況調査結果の活用検討

令和5年度博物館準備課事業計画

◆重点目標

【令和5年度】

(1) 目標「(仮称)豊田市博物館開館に向けた取組の推進」

(背景・経緯)

- ・多様な自然・文化的特性の源流となる本市の成り立ち、育まれてきた歴史・文化・自然を守り、育て、継承することを目的に博物館が令和6年春に開館する。
- ・博物館の市民への周知と共に、博物館・民芸館・美術館・高橋節郎館の効率的な施設運営や学校との連携強化を行う必要がある。

(求める状態・成果)

【令和5年度末のミライのフツー】

- ・博物館・民芸館・美術館・高橋節郎館の連携体制づくりが進んでいる。
- ・(仮称)豊田市博物館の令和6年4月開館にむけ、準備が完了している。個人、団体、企業のパートナーが博物館事業に参加する体制が整い、活動に参画できている。

【令和8年度末のミライのフツー】

- ・博物館・美術館への来館者の多くが文化ゾーン内を回遊し民芸館への往来も増えている。

【観覧者／施設総利用者数目標】博物館 90,000 人／168,250 人⇨R4.6 経戦資料
(R6R7 想定平均) 民芸館等 50,000 人／75,000 人
美術館・高橋節郎館 180,000 人／250,000 人

- ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民」の割合【市民意識調査】の向上(目標値: 55%以上)。
- ・開館から3年を経て、市民とともに本市の歴史・文化・自然が継承され、価値や魅力が発信されている。
- ・パートナーの取組が、観覧者や利用者、新たな活動者への呼び水になりつつある。

(2) 取組内容

1 博物館整備工事や民芸館部分改修等の推進

- ① 建物、外構工事及び常設展示施工実施
- ② 旧平岩家・土蔵等移築やEV充電器の設置実施
- ③ 初度備品の導入
- ④ 展示資料修復と複製作成
- ⑤ 工事を始めとした地元調整と関係構築
- ⑥ 文化ゾーン内回遊サイン工事等との連携
- ⑦ 民芸館内装及びサイン改修など実施

2 博物館・民芸館・美術館・高橋節郎館の連携

- ① ミュージアム連携会議を通じた連携取組の検討と一体的な広報の試行的実施
- ② 博学連携学習プログラムの試行的運用開始
- ③ 施設管理、運営部門の連携方法の検討

3 展覧会事業や市民共働による魅力創出

- ① 民芸館開館40周年記念展(特別展「沖縄の美」「河井寛次郎展」)や中馬館等

- 展覧会開催
 - ② 令和6年度以降の博物館企画展開催準備
 - ③ 博物館個人・団体等パートナー募集と活動開始
 - ④ 民芸の森等での市民・団体との共働事業の実施
 - ⑤ 広告事業やHP、SNSを通じたPRの実施
- 4 博物館・民芸館の運営体制の構築
 - ① 博物館条例及び民芸館条例の制定及び施行
 - ② 博物館ショップカフェ等の運営業者選定
 - ③ 民芸館等4施設を包括した指定管理制度準備
 - ④ 足助資料館等の地域の歴史継承拠点の再構築
 - ⑤ 旧鈴木家部分公開開始に伴う展示企画等支援
 - ⑥ 市史完成記念イベント支援

◆主な事業計画

(1) 新博物館開館に向けた取組

- ・整備工事の完了、備品類の発注
- ・常設展示等作業
- ・施設運営管理業務委託の発注
- ・開館広報
- ・企画展開催準備
- ・博学連携委員会開催等による、博学連携事象の準備。スクールサポート事業。
- ・博物館パートナーの募集

(2) 地域資料館等の事業

- ・施設の再構築（展示機能の一部移転と館の閉館）に向け文化財施設条例の改正
- ・閉館施設資料の地域内での一部展示の実施（足助、旭）
- ・歌舞伎伝承館の運営（指定管理）
- ・足助中馬館での展示

(3) 民芸館事業

① 民芸館の運営

ア 展覧会開催事業

- ・企画展「全国郷土人形」展（2/8～5/7）
- ・企画展「(仮) 柳宗悦と愛知の民藝」展（7/1～9/24）
- ・特別展「(仮) 沖縄の美」展（民芸館開館40周年事業（特別協力：日本民藝館））
（10/7～12/3）
- ・特別展「(仮) 河井寛次郎」展（民芸館開館40周年事業）（12/16～3/10）
- ・民芸館ギャラリー展示（第3民芸館）
 - ① 講座作品展（2/21～5/21）
 - ② バーナード・リーチの訪れた窯展（5/27～7/30）

- ③ みんなの作品展 (8/6～8/27)
- ④ ちゅらさん沖縄展 (9/2～11/26)
- ⑤ 郷土玩具展 干支と辰 (12/2～2/4)
- ⑥ 講座作品展 (2/20～5/19)

イ 講座開催事業

- ・ガス窯陶芸、穴窯陶芸、絞り染め、染織、とんぼ玉の連続講座
- ・気軽に陶芸体験「初めてのやきものづくり」、窯焚き陶芸体験などの体験講座

②民芸の森の運営

- ・NPO 法人民芸の森倶楽部連携（共働）事業
初夏、森の手ざわり（5月21日）、観月会（10月28日予定）
- ・体験ワークショップ、講座、本多コレクション展示、森のアート展（随時）
- ・民芸の森企画運営会議（3回）、NPO 法人民芸の森倶楽部の運営及び支援

③民芸館広報普及活動

- ・豊田市民芸館だより発行（2回）、豊田市民芸館講座案内発行
- ・関係機関他へチラシ・ポスター等配布（特別展・企画展、各種講座等）
- ・ホームページでの情報提供、各種講座等申込受付

⑤地域連携事業

- ・勘八峡紅葉ウォーキング（11月） その他随時調整のうえ実施予定

令和４年度 資料の購入について

【郷土資料館】

	作品名	作者／年代	点数	購入価格
1	日新真事誌 ※斎木貴彦関係資料	斎木貴彦編／明治8年	1点	63,000円
2	岸田吟香年賀状 ※岸田吟香関係資料	岸田吟香／明治13年	1点	72,000円
3	杉浦忠ほか下敷き ※杉浦忠関係資料	森永乳業株式会社／昭和35年頃	1点	2,120円
4	『アサヒグラフ』第16巻第6号・7号（部分） ※岸田吟香関係資料	朝日新聞社／昭和6年	1点	1,650円
5	拳母市及西加茂郡郷土地図	西加茂郡（拳母市）郷土研究会編／昭和26年	1点	1,940円
6	「精錡水」引札 ※岸田吟香関係資料	明治期	1点	15,510円
7	行書七言幅 ※岸田吟香関係資料	秋山白巖（碧城）／昭和11年	1点	4,200円
8	公訴荷之口一條記写本4冊揃	小出権右衛門／弘化2年	1点	150,520円
9	土師清二草稿 ※岸田吟香資料	土師清二／昭和期	1点	33,870円
10	『手紙雑誌』第2巻第6号 ※岸田吟香関係資料	明治38年	1点	2,715円
11	岸田劉生宛梅原龍三郎書簡 ※岸田吟香・劉生関係資料	梅原龍三郎／大正12年	1点	100,520円
12	御絵伝指示図	天明3年	1点	21,000円
13	妙好人伝 第一～三編	明治期	1点	4,200円
14	尾張国古図	昭和期	1点	2,100円
15	十一面観世音菩薩像 木版刷	三州生駒山小馬寺／幕末～明治期	1点	2,100円
16	神職会二関スル書類、郡神（郡神職会）雑書綴	岡田新作／大正13～昭和17年	1点	5,600円

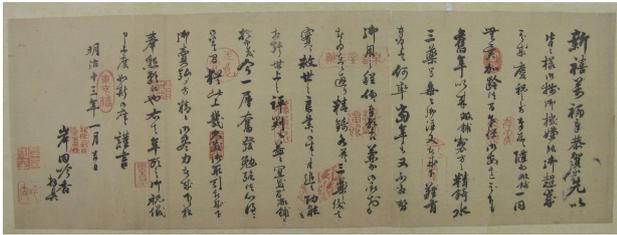
17	『中学時代一年生』昭和 33 年 11 月号 ※杉浦忠関係資料	旺文社／昭和 33 年	1 点	2, 9 1 0 円
合 計			17 点	4 8 5, 9 5 5 円

【民芸館】

	作品名	作者・購入元／年代等	点数	購入価格
1	打掛一斗五升甕	坂本 拓磨（小鹿田焼 民藝協会出品）／ 2022 年度日本民藝館 展 日本民藝協会賞	1 点	7 0, 4 0 0 円
2	口紅大鉢	六平／2022 年度日本 民藝館展 入選	1 点	4 9, 5 0 0 円
3	胡桃手提げ籠	上村 健三／2022 年 度日本民藝館展 奨励 賞	1 点	6 3, 8 0 0 円
4	山ぶどう手提げ籠	上村 健三／2022 年 度日本民藝館展 入選	1 点	7 4, 8 0 0 円
合 計			4 点	2 5 8, 5 0 0 円

(参考)

【郷土資料館】



- 2 岸田吟香年賀状 ※岸田吟香関係資料
- ・岸田吟香
 - ・明治 13 年

- 8 公訴荷之口一條記写本 4 冊揃
- ・小出権右衛門
 - ・弘化 2 年

【民芸館】



- 1 打掛一斗五升甕
- ・坂本 拓磨 (小鹿田焼民藝協会出品) (大分県)
 - ・2022 年度 日本民藝館展 日本民藝協会賞



- 2 口紅大鉢
- ・六平 (佐賀県)
 - ・2021 年度 日本民藝館展 入選



- 3 胡桃手提げ籠
- ・上村 健三 (新潟県)
 - ・2022 年度 日本民藝館展 奨励賞



- 4 山ぶどう手提げ籠
- ・上村 健三 (新潟県)
 - ・2022 年度 日本民藝館展 入選

豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会の設立について

1 設立の目的

ユネスコ無形文化遺産に登録された「綾渡の夜念仏と盆踊」を後世に伝えるため、保存継承活動を地域総がかりで支援し、まちづくりや地域活性化につなげることを目的とする。

2 協議会が行う事業

- (1) 担い手の育成に関すること。
- (2) 情報発信、普及啓発に関すること。
- (3) 調査研究に関すること。
- (4) 公開のための環境整備に関すること。
- (5) 行事を通じたまちづくり（地域活性化等の計画）の評価及び検証に関すること。
- (6) その他協議会の目的を達成するために必要なこと。

3 ユネスコ無形文化遺産の登録によって生じる環境変化

- ・祭礼行事当日の来訪者増加による諸問題… 雑踏整理、交通手段、道路規制等
- ・祭礼行事が安全に行われるための環境整備…敷地内の支障枝伐採

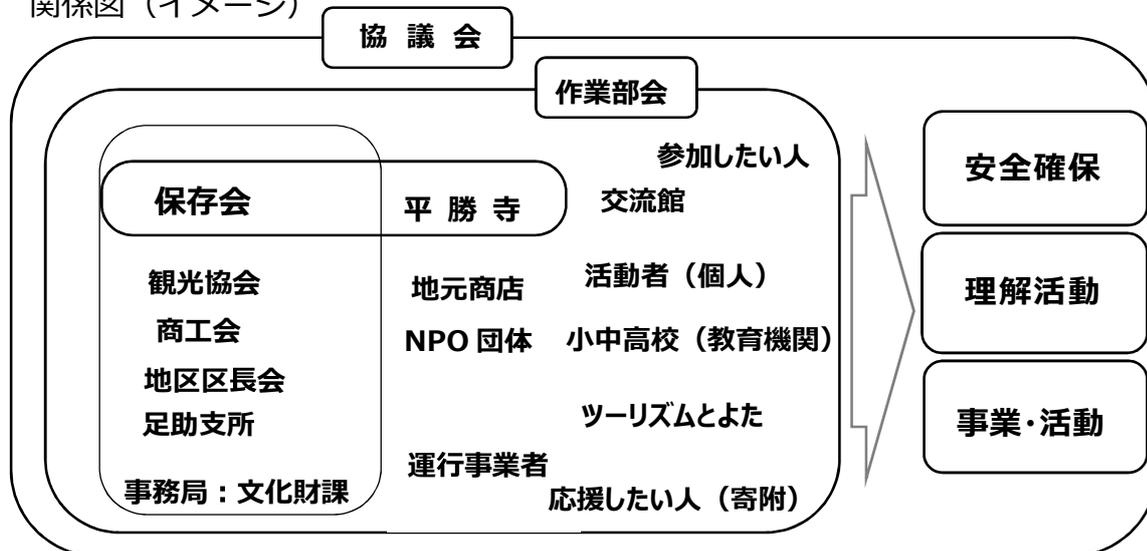
4 取組

- (1) **祭礼行事当日の安全確保** …交通規制、誘導、臨時駐車場、シャトルバス運行
- (2) 市民、観光客への理解活動 …盆踊りの練習による体験、当日の動画配信
- (3) 関係団体等による活動への支援…まちなかでのPR、小中学校と連携した取組

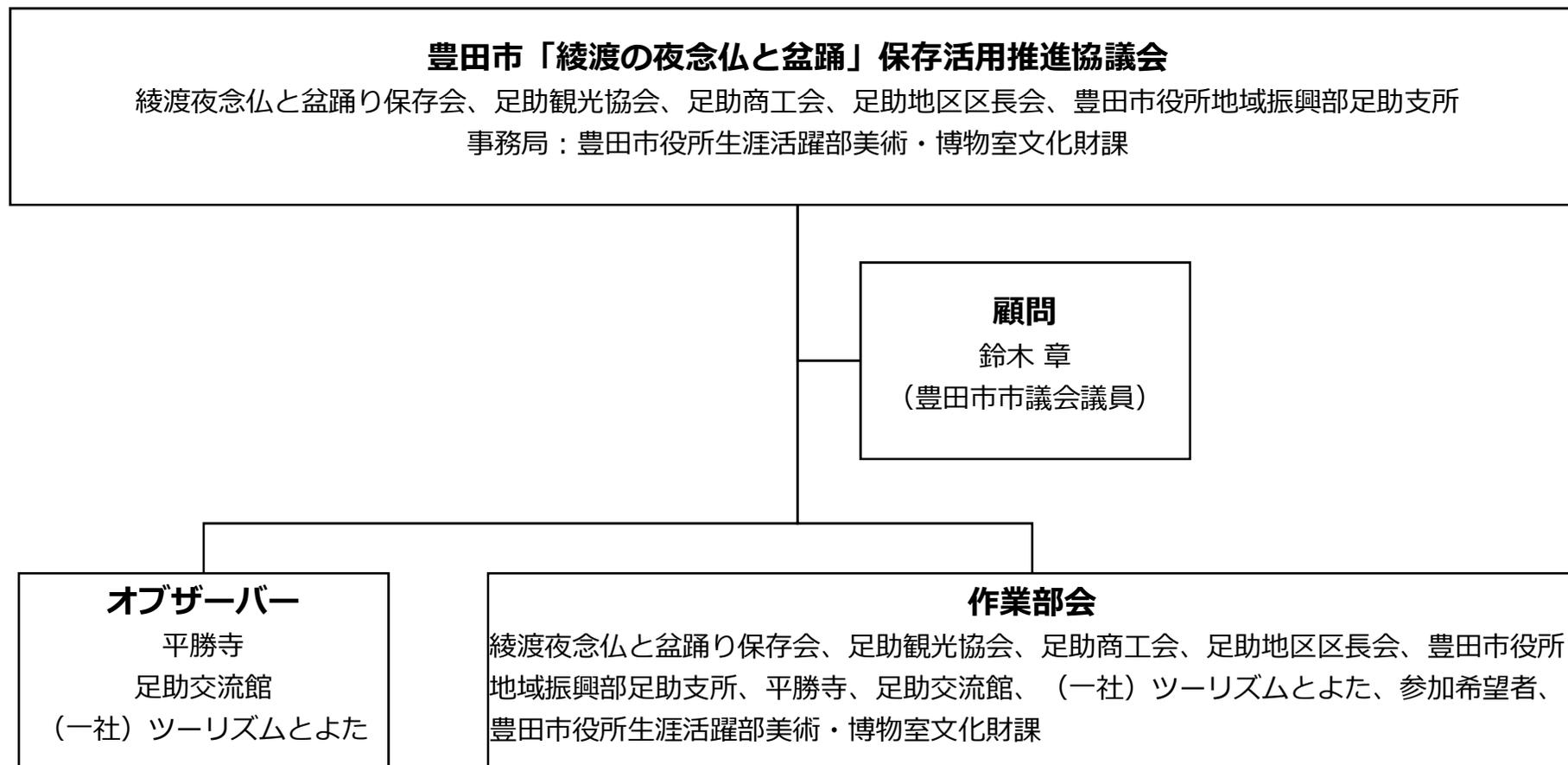
5 行事が継承されるための共通理解

- (1) 過度な情報発信や振興事業で保存会の活動を妨げないこと
- (2) 行事継承（保存会の活動）のための方策を地域総がかりで取組むこと

6 関係図（イメージ）



豊田市「綾渡の夜念仏と盆踊」保存活用推進協議会の組織



作業部会は、協議会メンバーとオブザーバーで構成される。

今後の文化財保護審議会と博物館事業の関りについて

1 開館と最初の企画展開催スケジュール

①博物館開館 (当初) 令和6年1月末⇒(変更案) 令和6年4月

②最初の展覧会 変更なし 令和6年10月

※建築工事の工期遅延(地下埋設物の処分等)の影響を受け、開館を後ろ倒しする。

※従来①を「部分(一部)開館」、②を全面開館と表現してきたが、上記表現に統一

2 令和5・6年度の予定

<令和5年度> 6月 6月議会 博物館条例・民芸館条例提出

7月 市民・企業パートナーの応募開始

11月 建物引渡し/建物内備品等設置

博物館での業務開始(博物館準備課)

3月 工事完了

<令和6年度> 4月 開館(=条例施行日) - 上記1①

博物館での博学連携事業開始/建物内備品等設置

10月 第1回企画展(～12月) ←当初予定から変更なし - 上記1②

1月 第2回企画展(～2月) ←当初予定から変更なし

3 今後の文化財保護審議会と博物館事業の関りについて

- ・博物館と民芸館は、令和5年6月議会にそれぞれ施設条例を提出。令和6年4月に博物館が開館する予定。
- ・このため、博物館と民芸館に関わる事業は、博物館法第23条で位置づけられ、新たに条例で定める「博物館・民芸館運営協議会」へ付議・報告する。
- ・また、博物館で収蔵する指定文化財の保存や活用に関する事項(文化財保護法第190条における地方文化財保護審議会に関する内容/豊田市文化財保護条例第34条における文化財保護審議会に関する内容)については、文化財保護審議会に付議・報告する。
- ・博物館・民芸館運営協議会の委員については、博物館法および条例で位置づけられる「学校教育の関係者」「社会教育の関係者」「家庭教育の向上に資する活動を行う者」に加え、「学識経験者」として、文化財保護審議会の委員でもある、地域の歴史に関連する方(1名/例えば考古・歴史・美術・民俗等)、民芸に関連する方(1名)に参画していただきたい考え。
- ・現在実施している旧平岩家住宅移築工事などについては、今後も文化財保護審議会にご指導、ご教示いただきながら、事業を進めていきたい。